



ささえあい あったか 十文字ネット 通信

～ 地域みんなで助け合い・支え合いに取り組もう ～

発行 第2層 十文字生活支援協議体 事務局

社会福祉法人 横手市社会福祉協議会 十文字福祉センター

住所：十文字町梨木字御休ノ上 29 TEL：42-5858/FAX42-4577

第1号

H28.9.11 発行

■ 地域の助け合い・支え合い体制を構築するために生活支援協議体を設置



現在、横手市の高齢化率は約35%、十文字地域全体では約34%となっており、10年後の平成38年には、40%を越え、今後も、全国平均よりも15～20年早く、少子高齢化が進むと言われています。

また、当地域は、こうした少子高齢化や人口減少に加え、高齢者世帯の増加、若者の県外流出、核家族化等の課題に加え、学校の統廃合も進んでいます。

今は昔と違い、ご近所付き合いや地域のつながりが薄くなり、町内会や地域行事を続けることが困難になっているところもあります。また、今後は、働く人が不足し、介護サービスの提供が困難になることも予想されています。

私たちは、地域の人々と話し合い協力しながら、“地域のことは地域で”を基本に、地域福祉活動やご近所付き合いによる地域の助け合い・支え合い活動を推進していく必要があります。



こうした中、平成30年度までに全国の市町村区域では、地域の現状や課題、新しい介護予防・生活支援サービスを検討する「生活支援協議体」（構成員：地域住民、行政等関係機関・団体等）の設置を進めることになり、十文字地域では平成27年度末に設置されました。（平成28年度：横手市全地域に設置予定）また、今後はこの協議体の中心となる「生活支援コーディネーター」の配置をする予定となっています。

■ 十文字生活支援協議体の取り組み

十文字生活支援協議体では、地域の助け合い・支え合い体制を推進していくため、まずは、地域住民の意識啓発に重点的に取り組むことにしました。

特に子ども時代からの助け合い・支え合いの意識啓発が重要との意見から、今年度の取り組みを次のようにまとめました。

- ①「地域イベント（十文字まるごとマルシェ／我ら町の営業本部）での意識啓発活動」と、
- ②「小学生高学年を対象にした地域の助け合い・支え合い意識啓発授業」を実現しようと関係者へ協力を依頼していくことになりました。



【関連用語解説】

● 少子高齢化（高齢化率）

出生率の低下により子どもの数が減ると同時に、平均寿命の伸びが原因で、人口全体に占める子どもの割合が減り、**65歳以上の高齢者の割合（高齢化率）**が高まることを言います。



【参考】平成26（2014）年現在の高齢化率は、最も高い秋田県で32.6%、最も低い沖縄県で19.0%です。

● 核家族（化）

夫婦とその未婚の子どもで構成される家族のこと。ただし夫婦のみの世帯や一人親世帯も含まれます。都市化や高度経済成長とともに、3世代同居などの大家族世帯が減少し**核家族化**が進行したと言われています。



● 介護サービス

介護保険法で給付（提供）されるサービス。訪問介護やデイサービスなどの在宅サービスと介護保険施設（特別養護老人ホームなど）での施設サービスがあります。



～ 身近にできる「助け合い・支えあい活動」を考えてみましょう ～

夏休みのある朝、向かいに住む、ひとり暮らしのおばあさんが、“重そうで大きなゴミ袋”を持って集積所の方に歩いていくのが見えました。最近、退院してきたばかりで、あなたの家族も近所の方も心配していたのを知っています。

あなたは、おばあさんの様子を見て、ひとりでだいじょうぶかな？と少し心配になりました。あなたの気持ちに一番近いと思うことを、次の中から、選んでみてください。



1. 家族に、おばあさんの朝の様子を伝えたほうがいいかな。
2. やっぱり、自分の家族でないし、関係ないかな。
3. おばあさんの家に行って、様子を見てみようかな。
4. おばあさんのゴミ出しを、手伝ってみようかな。
5. おばあさんの隣りの家の人か、手伝ってくれればいいのになあ。



《解説》

あなたが、子どもであれば、1のように、家族に、おばあさんの様子を伝えたほうがいいでしょう。大人の方であっても、家族と同居していれば、まずは家族に状況を伝えて相談に乗ってもらったほうがいいでしょう。3. 4のように、何かしてあげたい、手伝ってあげたいという思いは、誰でも、自然にわいてくるものです。ただ、実際に行動できるかどうかについては、相手の方との付き合いの程度や、ある程度の経験や知識がなければ難しいと思います。

自分が住み慣れた家や地域で暮らしたいという願いは、誰もが思っていることです。人はみんな歳をとります。病気やケガも誰にでも起こりうることです。

子どもの頃からの地域のつながり、世代のつながりは、将来、地域にとって目に見えない大切な財産になります。